

# 会議報告書 議事要旨（第5回庁舎検討懇談会）

---

【日 時】 2016/1/21 13:30～15:30  
【場 所】 会津稽古堂 3F 研修室 2  
【委 員】 出席 13 名、欠席 3 名（※別紙参照）  
【事務局】 企画調整課 4 名  
日本経済研究所 社会インフラ本部 2 名

---

## 【議事要旨】

### 1. 開会（企画調整課）

これまでの庁舎検討懇談会では、市と現庁舎等について皆様と理解を深め、前回WSなどを通じ、庁舎の役割や整備目標、その位置等についてご意見をいただいていた。今回は、頂いた意見をもとに検討を進めていただきたい。

### 2. 議事 庁舎検討

（議事進行：宮澤委員）

#### （1）第4回までのまとめ、市及び現庁舎の現状、庁舎整備の必要性について

<委員>

庁舎の老朽化が課題であるが、どの程度危険であるのか、市民が理解できるようなデータを示すべきである。

⇒（企画調整課）耐震データはあるが、設備の修繕も多くなっており、それらをわかりやすくし別資料として示したい。

<委員>

市役所庁舎に求められる役割については、シンボルとしての意味合いを強くし、「結節点」など、まちの要・中心といった表現が必要ではないか。前回の委員個別の意見は、インパクトが強く、そのような表現で意見として示してほしい。

⇒（企画調整課）一般的な表現ではなく、ご指摘にもとづき、懇談会意見をまとめていく。

<委員>

シンボルということでは、一旦市外に転出した人が、市内に戻ってきた時に「戻ってきた」と感じられるような、市のランドマークとなるようなものにしてはどうか。

<委員>

市役所庁舎に求められる役割について、戦略拠点としてまちづくりを進めるという意見があったが、観光客も含めて“人が集う”ということを示すべきである。（他委員同意見あり）

⇒（企画調整課）人々が回遊する・滞留するという意味を込め、意見をまとめていく。

## 会議報告書 議事要旨（第5回庁舎検討懇談会）

### （2）整備の位置について

- ・ 整備の位置については、総合計画にも反映させていきたいと考えている。以前の懇談会で意見が挙がっていた、「本庁舎の位置が変わると、人の流れが大きく変わる」という意見が印象的であった。（企画調整課）

#### <委員>

「現在地周辺」が良いと考える。

#### <委員2名>

「現在地を含めた現在地周辺」、と理解している。

⇒（企画調整課）「周辺」という意味合いについては、「現在地を含める」ということで理解し、わかりやすい表現としてまとめていく。

### （3）整備のあり方について

- ・ 鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想では、本庁舎以外の分庁舎についても方針が示されているが、これらの分庁舎跡地の利用も含めご意見をいただきたい。（企画調整課）

#### <委員>

本庁舎と分庁舎は、無理してまとめる必要はないと考えている。市民サービスについては、本庁舎でよく、現状の体制に支障は感じていない。個人的には、現在のような機能分散も然るべきであると考えており、本庁舎の場所は駐車場が狭いことから、無理して集約せず、周辺にまとまっていればよいと思う。ただ、三菱地所設計の野村氏の話にあるように、各種手法を取り入れて本庁舎の利活用を行うことが望ましい。

#### <委員>

賛成である。周辺にまとまることで、駐車場の節約ができると考える。

#### <委員>

土地が狭隘であることを考えると、本庁舎の正面に駐車しなくてもよいのではないか。少し離れた場所に駐車場を設けるということも考えられる。

#### <委員>

隣接する東北電力との一体的な駐車場開発を考えてもよいのではないか（共有駐車場等）。

#### <委員>

整備位置は現本庁舎位置を基本として、駐車場のあり方を併せて検討する必要がある。機能は集約するが、庁舎は集約の必要性はないということか。

## 会議報告書 議事要旨（第5回庁舎検討懇談会）

⇒（企画調整課）庁舎の集約についてどのようにするかは、皆様のご意見として一定程度取りまとめていただきたい。

<委員>

庁舎機能は集約できるならば、集約したほうがよい。また、庁舎の前面に駐車場が立地しているのは、他地域からの訪問客からみて、あまりいいイメージではないので、予算との関係もあると思うが、別の場所にある方がよいと考える。

<委員>

庁舎を集約してしまうと、建物が高層にならざるを得ないと考える。会津若松市には、景観条例はあるが、高さ制限については設けられていない。景観を守ることを考えると、分散していても低層であるほうが良いのではないか。

<委員>

自身も、あまり高層とする考えではない。また、現在の分散状態であっても、不便さは感じていない。

<委員>

庁舎が分散していると、用件によっては、車で庁舎間を移動しなければならず、不便に感じている。庁舎は高層にならない程度に集約していただく方が便利である。

利活用構想において、栄町第二庁舎の利活用、整備の方針として「子どもたちに関連した施設」という利活用の方向性が示されているが、実際には郊外にある駐車場が広い施設の方が、子どもを連れて行きやすい。市の中心は、駐車場が狭いことから子どもは連れて行きづらい。したがって、栄町第二庁舎の跡地を駐車場としてもよいのではないか。

<委員>

旧学鳳高校跡地も遊び場にはよいのではないか。

<委員>

建築士会の耐震診断メンバーによれば、現本庁舎の裏手には思った以上にスペースがあるので、高層にせずとも集約は可能という見解である。本庁舎の目の前にはポケットパークを設置し、そこを抜けて庁舎に向かう動線が良いのではないか。

<委員>

ソフト面でも、まちのあちこちを回る必要がないように、機能も集約すべきである。また、今後の技術進歩を考えれば、書類等の電子化も多くなると考えられるので、必ずしも庁舎に足を運ぶ必要がない点も考慮して検討すべきである。

現庁舎前のスペースにポケットパーク設置の話が挙がっているが、会津レクリエーション公園があるものの、アクセスが不便であることから、あまり活用されていない。門田の運動

## 会議報告書 議事要旨（第5回庁舎検討懇談会）

公園は多くの人が集まっている。いくら広くても使用されなければ意味がなく、今後は、会津レクリエーション公園へも流れるように、習慣づけることも大事ではないか。

<委員>

利用者の利用方法を考慮する必要があるだろう。第一庁舎から第三庁舎まで回るとすると、大変な手間である。庁舎についてどのような機能分類とするかとともに、効率よく動ける庁舎とすることを検討することも重要と考える。

⇒（企画調整課）現本庁舎エリアに集約することを基本として、ソフト面で、技術進歩等を踏まえた、市役所サービスのあり方を検証し、整備の方向性を示すべきであると感じた。

<委員>

駐車場も含めた、機能集約として検討してもらいたい。

⇒（企画調整課）今回の意見について、次回までに懇談会意見としてまとめていく。

<委員>

庁舎整備の際には、周辺の道路整備もあわせて考えるべきである。

⇒（企画調整課）118号線からの流れや本庁舎南側も含めてということかと思う。

### （4）財源・事業手法及び整備までの流れについて

- ・ 現在、会津若松市の庁舎整備基金は約42億円であり、整備に際して不足があれば、合併特例債の活用が考えられる。詳細な手法は、今後のさらなる検討の中で明らかにすべきということではあったが、併せて、これまでの懇談会で説明した各種補助金の活用やPFIといった整備手法などによる整備費用の節減、官民連携も視野に入れ、検討を進めていきたい。（企画調整課）

<委員>

適切な手法は不明だが、合併特例債の利用については、懇談会意見に盛り込む方がよい。

<委員>

合併特例債を利用するとなると、整備時期の期限についても決まってくると思う。整備時期と財源は不可分だと考えている。

<委員>

合併特例債を利用する場合、自ずと整備スケジュールが見えてくるので、懇談会意見として示すこととしたい。

⇒（企画調整課）現状で考えられる有効な対応として、ひとつに合併特例債を利用とした方向性がある。また、それに伴いスケジュール感も連動するので、整備までの流れ

## 会議報告書 議事要旨（第5回庁舎検討懇談会）

も財源とともに検討していただけると効果的である。

合併特例債は、整備費の節減に関し有利ではあるが借金であることも事実である。市はかつて実質公債費率が約 18%であったが、現在は約 12%と、その比率を下げた。そうした中で、まずは学校の整備を優先したく、実質公債費率は現在よりも厳しくなることが想定される。そこで、学校整備がある程度終わってから、庁舎整備について起債を行うべきではないかと考えている。一方、庁舎整備も早期に進めるというご意見もあると思う。したがって、財源とスケジュールについては、併せて検討していただきたい。

### <委員>

正直、市役所にあまり行かないので、さほど愛着はない。ただ今回、市庁舎に求められる役割では、「市民が集う」といった意見が多くみられることから、整備の段階から市民が関わられるようにした方が良いのではないかと考える。例えば、市民に寄付を募り、寄付された方の名前を壁に記すといったことが検討されれば、より庁舎への愛着がわくのではないかと。財源の面でも助けになり、市民参画のアイデアをもっと出していくべきだと考えている。

### <委員>

ワークショップの具現化になるような意見である。市民の役割という点にも関係すると考える。市民参画の取組として、意見を具現化してもらいたい。

⇒（企画調整課）市民の庁舎への親しみという観点からも、懇談会意見としてまとめている。

### <委員>

整備手法は、庁舎施設の中身次第であると思う。庁舎内に市民スペース等が設置されるなら、PFI などの手法も活かせると考えられるが、中身が決まらない中で整備手法を選ぶことは難しい。

### <委員>

地方と都会の庁舎では、求められる機能やセキュリティ、整備の方法等も異なると考える。会津だからこそできることもある。地方の庁舎は、市民に壁を作らず、コミュニティを作り出す中心として機能してほしい。

⇒（企画調整課）ハコモノづくりのコンセプトとして、市民が集う場所となる庁舎整備を検討する意見が多いことは興味深い。

### <委員>

現在の本庁舎は、耐震の限界となる期限はわかっているのか。

⇒（企画調整課）耐震性能は相当低く、既存不適格という状態である。本庁舎旧館は、昭和 12 年に建てられた割には丈夫なようで、昭和 33 年に建てられた本庁舎新館の方が厳しい状況である。なお、現在の技術では、これまでの意匠を残しつつ補強を行うことが

## 会議報告書 議事要旨（第5回庁舎検討懇談会）

可能である。

### <委員>

崩壊の危険性から整備の期限を決めなくてよいのか。

⇒（企画調整課）早く庁舎整備に取り掛かる方が良いとは考えるが、優先は学校施設とした上で、庁舎整備にもできる限り早期に取り組むこととしたい。

### <委員>

そもそも市町村合併の条件として庁舎整備が挙がっていたはずであり、早期実現は必然である。現状では他地域からの視察団の受入れも困難である。

### （5）その他のご意見（全体を通して）

#### <委員>

庁舎整備にあたっては、高齢者や障がい者の方が庁舎を訪れた際に、たらい回しにならないように、ワンストップ機能を目指してほしい。

#### <委員>

シンボルとしての庁舎は必要であると考え。七日町から庁舎を抜け、鶴ヶ城までが観光ルートになれば、他の地域から訪れた人を案内できるので良いと思う。その際は、車にも人にも優しい道路という観点も検討してもらいたい。また、市役所としては土日休みであるが、土日であっても市民が休憩したり、写真を撮ったりと、少しでも寄れるスペースを設けるなど、愛着を持てる庁舎整備を目指してほしい。

景観の観点から、ファサード（正面）等の壊れて困る部分については先に修繕を行い、整備時期までもたせるのはどうか。

庁舎整備にあたっては、市民の理解が必要であると考えられるため、もっとPRを行い、市民が庁舎のことを改めて考え直す必要があるのではないかと感じる。

#### <委員>

少しでも早く整備するというのは、懇談会の総意ではないかと考える。

10年後と言わず、できるだけ早く整備が求められていると考える。いつ市民のコンセンサスを得て、いつ最終的に整備に至るのかを示すことが大事で、本庁舎の正面だけでも先行して進めるほうが良いと考える。

#### <委員>

庁舎整備の時期は早められないのか。

⇒（企画調整課）起債の状況に大きく関係してくる。

皆様のご意見を受け、庁舎整備について時期を遅らせるという考えはないことを懇談会意見として示す。

## 会議報告書 議事要旨（第5回庁舎検討懇談会）

### <委員>

第7次総合計画期間内に着工・完成予定となる可能性はあるか。

⇒（企画調整課）そこまでの検討には及んでいないが、スケジュールの案として、財源・事業手法の検討の際、ご説明したとおりである。

### <委員>

時代が変われば状況も変わることは理解できるが、ある程度これまでに検討されてきたことを踏まえて意思を受け継いでいくべきであると考え。市長が変わる度に考えを再考するよりも、踏襲するべきである。前市長の時代に、庁舎整備については市民のコンセンサスを得られており、これをなかつたことにすれば、市民の意見を無視していることにもつながる。

⇒（企画調整課）本日頂いた意見を踏まえて、次回懇談会で改めて懇談会の意見として取りまとめていきたい。

本日の懇談会で意見を伝えきれていない方は、後日であっても申し出いただきたい。

### 3. その他、連絡事項（企画調整課）

- ・ 次回は、平成28年2月10日(水)13時30分より稽古堂3階、研修室2で開催予定である。

### 4. 閉会（企画調整課）

以上

# 会議報告書 議事要旨 (第5回庁舎検討懇談会)

(別紙)

【参加者】 (○印…議事進行、敬称略)

氏名	備考
渡部 卓也	公募市民
小林 正人	公募市民
渡部 香世子	公募市民
大須賀 啓次	公募市民
松嶋 加代子	公募市民
斎藤 良雄	会津若松市区長会
宮森 泰弘	会津若松商工会議所
澁川 恵男	株式会社まちづくり会津
小畑 匠	会津青年会議所
○宮澤 洋一	会津若松スマートシティ推進協議会
竹内 樹美	福島県建築士会会津支部
佐藤 俊材	会津若松市地域公共交通会議
中川 浩然	行政機関 (福島県会津地方振興局)

計 13 名

【欠席者】

氏名	備考
小椋 満幸	公募市民
柁屋 奈津子	公募市民
柴崎 恭秀	会津大学短期大学部教授

計 3 名